

|   |   |      |     |  |
|---|---|------|-----|--|
| 件名  | 「見た目問題」に関する陳情                             |      |     |  |
| 提出者<br>住所氏名   | 墨田区押上<br>特定非営利活動法人マイフェイス・マイスタイル<br>代表理事 F |      |     |  |
| 受理年月日   | 平成30年6月7日                                 | 受理番号 | 第7号 |  |
| <p>要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 墨田区において、「見た目問題」に関して、区民等に広く啓発を行ってください。</li> <li>2 墨田区において、「見た目問題」に関して、区民等に分かりやすい相談窓口を設けるとともに、必要に応じて庁内の連携体制を整えてください。</li> <li>3 墨田区において、区で把握できる情報を用いて、「見た目問題」に関する実態を把握してください。</li> <li>4 上記3の結果を踏まえて、墨田区において、「見た目問題」に関する施策を検討してください。</li> <li>5 国においても、「見た目問題」に関して、その実態を把握し、その結果を踏まえ、特に先天的な「見た目問題」について、カツラ・エピテーゼ等に対する助成金の創設や就職差別の禁止等、「見た目問題」に関する施策を検討するよう、国会及び政府に対し、意見書を提出してください。</li> </ol> <p>(理由)</p> <p>日本には、約100万人の「見た目問題」当事者がいるとされています。「見た目問題」当事者とは、先天的又は事故及び病気等による後天的な理由で、人目に触れる部分に生じている特徴的に目立つ症状によって、様々な社会的困難を抱える人たちのことをいいます。具体的な症状としては、顔や体に生まれつきあるアザ、事故や病気による傷痕、変形、欠損、まひ及び脱毛等があります。</p> <p>彼らが直面する社会的困難とは、他者とは異なる見た目による侮辱、それを引き金とした自己肯定感及び自己効力感の低下、そして無業者化及び未婚化等、社会との断絶です。</p> <p>なお、日本には、「見た目問題」に関する公的な統計が存在しないため、正確な人数は不明ですが、イギリスの支援団体 Changing Faces が2007年に実施した調査を参考にすれば、イギリスには「見た目問題」当事者が54万2千人いるとされており、日本の人口はイギリスの約2倍で、かつ、疾患の発生率に地域や人種による偏りは特に見られないことから、日本にはおよそ100万人、126人に一人の割合で「見た目問題」当事者がいると推測されます。</p> <p>日本においても、「見た目問題」に関する調査を行い、対策を講ずるなど、「見た目問題」当事者への対応を行う必要があると考えます。</p> <p>以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |   |      |     |  |